

八郷伝報

町の人白

	9月1日現在	前月比
男	13,709	△7
女	14,125	△18
計	27,834	△25
世帯数	5,765	▲2

No. 207 昭和47年9月15日 発行 八郷町役場 関野信平 印刷 やさと印刷所



柿岡小学校

基礎工事にはいる

11月から特別教室棟のくい打ち

柿岡小学校の新築工事が連日行なわれています。

すでに普通教室棟のくい打ちが終り、基礎工事の土台づくり、「基礎はり」にはいりました。なお、特別教室棟のくい打ち作業は十一月からはじめられます。

普通教室棟ですが、十二月末までには三階まで鉄筋が組まれ、コンクリートが打たれるということであり、小学校校舎の形がほぼでき上がる予定です。

9 月

4 7

西光院本堂上棟式

多数の来賓迎えおごそかに

来春までには完成！

県指定文化財峰寺山西光院本堂（大沢俊起住職）の修復工事が行なわれていますが、このほど上棟のはこびとなり、上棟式が盛大に行なわれました。西光院本堂の修復工事は昨年十一月に着工され、工事がすすめられてきたものです。

現在の本堂は寛政六年に建てられたもので、その後何回かの修復工を経て現在にいたっており、老朽化がひどく難工事になっていますが、慎重な修復工事が行なわれており、順調に復元がはかられています。

上棟式には、町長はじめ設計にあたっている清水政春氏、文化庁の服部勝吉氏、県南教育事務所社教課長など多数の来賓と檀家の人たちが、それに工事関係者合わせて五〇名近く出席しました。

式では「綱引の儀」「槌打の儀」など、上棟を祝う意味のめずらしい儀式がおごそかに行なわれ、最後に来賓のあいさつがありました。

町長は、工事関係者をはじめ



上棟を祝うたくさんの方々の儀式が行なわれた「上棟式」

檀家の人たちの協力でもめて上棟のはこびとなったことに對しお祝いのことはをのべ、さらに守り本尊として最後のお祝をみなさんとともにしたい旨をのべました。また、設計にあたった清水政春氏は、西光院本堂の貴重さを説明し、その意味で復元されることを祈る意味のことはをのべ、上棟式をおわりました。

臨時議会から

今回の修復工事では、過去に行なわれてきた修復工事によって多少姿が変わってきたという本堂を本来の本堂の姿に復元がはかられますので、工事はこれからがさらにむずかしくなるものと予想されます。

新しく「指導専任副団長」

国保条例改正など

三議案が可決成立

八月十日午前十時から役場議場で第五回臨時議会が開かれ、三つの議案が上程されました。

慎重に審議した結果、原案どおり可決されました。可決された議案のあらましは次のとおりです。

消防団の中に

「指導専任副団長」

八郷町消防団員の定員、任免給与服务などに関する条例の一部を改正するものです。

これまで、消防団の内規として行なわれていた指導員制度についていろいろ検討した結果、消防団員の指導訓練には指導員制度は必要であるとの結論に達し、指導専任副団長ということで、条例に規定するものです。

八郷町国民健康保険条例の一部を改正するもので、国民健康保険税の中で、税を決めるうえでの所得割、資産額、被保険者数、世帯数に移動がありましたので、例年のおり税率を改めるものです。

このほか、基礎控除額の引き上げなども行なわれました。

国保特別会計補正

五百万円を減額

歳入は、現年度分の世帯当り平均千四百一十一円（五百万円）を減額し、前年度繰越金五百四万三千円を充当するもので、補正額は四百三十三千円です。

歳出については、昭和四十六年度の国保特別会計における実績報告で、繰越金が大額なのでこのうち五百万円を減額し、国保税の軽減をはかるものです。

このほか、療養給付費の国庫交付金の返還金四万三千円を補正したものです。

労働者の

最低賃金が決まりました

このほど、県内のすべての労働者に適用される最低賃金が次のとおり決まり八月二十日から実施されました。

◎最低賃金額

一日一、〇〇〇円（パート一時間一五五円）ただし美容師見習は一日九二〇円（

パート一時間一五五円）

◎最低賃金の対象となる賃金から除外する賃金

精進手当、通勤手当、家族手当

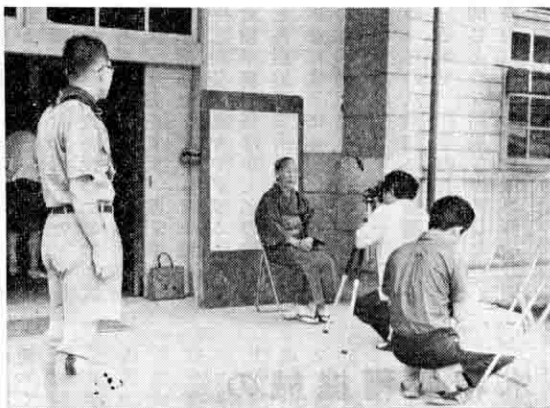
この最低賃金は、労働者の生活の安定、労働力の質的向上を目的に県の審議会の意見にもとづいて決定されたものです。（茨城労働基準局）

町の高令者 (90才以上)

昭和47年9月1日現在

番号	氏 名	性別	生 年 月 日	年 令	住 所
1	大 槻 とめ	女	明 6. 2. 9	99	山 崎
2	岡 本 せつ	女	明 6. 4. 7	99	大 増
3	大 岡 とめ	女	明 10. 6. 7	95	中 戸
4	石 田 せき	女	明 11. 1. 19	94	瓦 谷
5	山 田 藤助	男	明 11.11. 2	93	山 崎
6	吉 田 寅藏	男	明 11.11. 9	92	瓦 谷
7	小 林 長一	男	明 11.12.11	91	須 釜
8	込 山 つね	女	明 13. 3. 5	92	小 幡
9	菅 原 道太	男	明 13. 7.26	91	宇 治
10	久 保 梅三	男	明 13. 9.17	91	太 田
11	関 いね	女	明 13.12. 1	90	細 谷
12	馬 立 のぶ	男	明 13.12. 1	90	上 曾
13	磯 崎 つね	男	明 14. 2.25	89	片 野
14	原 田 たけ	男	明 14. 3.30	89	瓦 谷
15	桜 井 安之	男	明 14. 4. 2	89	川 又
16	芝 山 みき	女	明 14.10.17	89	柿 岡
17	仲 野 谷 ち	男	明 15. 2.10	88	東 井
18	藤 田 為之	男	明 15. 3.18	88	吉 生
19	原 田 馬次	男	明 15. 5.20	88	半 田
20	真 家 壬午	男	明 15. 7.26	88	柴 間

お年寄りにたいへんよろこばれた恒例の全日写真連盟八郷支部の写真的サ



「敬老の日」に各地区で敬老会

長寿祝いたくさんの行事

573名に赤いざぶとん

「敬老の日」の九月十五日、各地区で婦人会の人たちによる敬老会が行なわれました。ことし八〇才以上の誕生日をむかえられたお年寄りは五七三名もおります。そのお年寄たちをうやまい、さらに長生きをしてほしいというみんなの願いをこめて、ことしも各地区ごとに敬老会を実施したわけですがこの席にお年寄りは元気な姿で出席し、いろいろな心のこもったもてなしをうれしそうに受けていました。日ごろは、あまり会えない人とも顔を合わせることで、楽しそうに話合っている姿もたくさん見受けられました。なお、町ではことしも

青少年健全育成のための標語

4点決まる

さきに広報紙上で募集した青少年の健全育成のための標語はみなさんから多数の応募がありました。慎重な審査の結果次の四点が選ばれました。

- 愛の手を 伸ばしてみよう のびるだけ
- 育つ子の かけによい母 よいしつけ
- 悪いこと 悪いこと
- 良いと思うな 青少年

これらの標語は、青少年の健全育成のため町内八カ所に立てる予定の立看板などに役立たせていただきます。なお、この入選作品には青少年相談員連絡協議会から謝礼がおくられました。



天高く、馬肥ゆる……秋を文字で書けばこういうことになりす。食べもののおいしいときに、たくさん食べて体力を養うことは、やがてやってくる冬の寒さに耐えるためにたいせつなことですが、体力をつけるために食べるというのと、おいしいときなら何でも腹いっぱい食べるということは意味が違います。食欲のあることは、たしかにからだの丈夫な証拠です。しかし、腹いっぱい、胃がくるしくなるほど食べることは決して体力を増すことにはなりません。いくら食べてもふとらない人や、ふだんあまり食べもしないのにふとっている人がいます。両方とも食事のどこかに欠陥があるとみてよいでしょう。

人間は食べたそのカロリーにふさわしい活動をして、エネルギーを消費しなければ消化不良や栄養の偏重でからだに影響します。このよい季節に、大いに食べるのは結構ですが、それにともなう活動をして、体力の増進につとめたいものです。

昭和四十七年産水稻米の初検査が九月十二日に八郷農協柿岡事業所で行なわれました。

この日検査を受けたのは、大字片野の山中正夫氏、横浜長一郎氏、加藤正光氏、渡辺喜胖氏の出荷したトドロキワセ種合計一二三袋（30キログラム入）で食糧事務所長ほか七名の検査員と各農協事業所の職員の人たちの手によって慎重に検査が行なわれ等級が決められました。

検査の結果ですが、一二三袋のうちの八割ないし九割近くが三等米で、昨年の初検査とほぼ同じような結果が出ました。

検査にあたった食糧事務所の検査員の話によりますと、乾燥の

水稻米の初検査を行なう

トドロキワセ一二三袋
ほぼ昨年並の結果



慎重に水稻米の検査をする検査員—柿岡事業所—

水稻收穫機械の 実演研究会 下青柳のほ場に200名 コンバインによる收穫 をつぶさに観察する

し過ぎをしないように十分気を使っ
てほしいと指摘していまし
た。



このほど、ほ場整備を実施した下青柳地内のほ場で水稻收穫機械の県南ブロックの実演研究会が開かれました。

この実演研究会は、機械による收穫を農家のみなさんに実際にみてもらい認識を深めてもらうために県の主催で開かれたものです。実演研究会の行なわれた大字下青柳、高橋うめ(4)さん所有のほ場（20アール）の周囲には、県をはじめ県南地区市町村の関係職員それに地元の農家のみなさんなど約200名近くが詰めかけました。すでに実用化されている收穫機のメーカー5社の協力で自脱型コンバイン、中型コンバインがほ場に入り、稲刈りから脱穀までの瞬間的な作業が実際に実演され、あつまったみなさんは機械による收穫をつぶさに観察しました。さらに、この日はコンバインの種類と利用に関する説明も行なわれたため、機械化の必要性はみなさんに認識されたようでした。

小幡地区では第二次農業構造改善事業を実施していますが、各地区に実施しているほ場整備事業と合わせて農業の機械化を進めていく計画です。

（下青柳のほ場で実際に行なわれた收穫作業）

印紙税は不動産売買契約書、金銭借用証書、領収書、委任状、家賃通帳などの文書にかかる税金です。

印紙税はふつうこのようないし文書を作成した人が、その文書に定められた税金を金相当額の印紙をはり消印して納めます。印紙税のかかる文書は種類がたくさんあり、また同じ種類の文書でも記載されている金額により印紙税の額が異なることがあるので、はり忘れたりしないようご注意ください。

印紙税についてまちがいや

まちがいやすい印紙税

すい事例は次のようなものです

1 仮領収書について
後日正式な領収書を発行することになっている仮領収書でも、受け取ったという事実を証明するものですから受取書

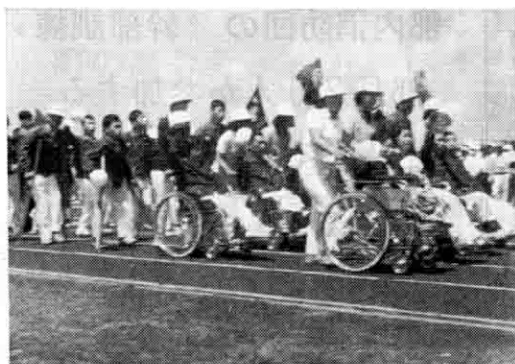
2 二通以上の文書を作成したとき
一つの取引について文書を二通以上作成した場合にはその全部に印紙をはらなければなら

りません。たとえば不動産の売買契約書を正本と副本二通作成し、それぞれに売主と買主が署名押印して一通づつ保有する場合には、正副とも印紙をはらなければなりません。

3 土地譲渡証書について
土地を売買した際に売買契約書を作成し、その後登記の際さらに譲渡証書を作成することがよくありますが、この場合の売渡証書にも印紙をはらなければなりません。

結成七周年を迎えて

八郷町身体障害者
福祉協議会長 大 槻 忠



第10回身体障害者スポーツ大会

八郷町の皆様、障害福祉法は昭和二十五年四月一日に施行され、すでに二十二年余になりました。この間、関係法規並びに法外援護の整備充実とあいまって障害福祉も逐年改善されたことはまことに感謝にたえません。しかしながら現状は、障害者並びに一般社会のかたがたには真の理解と認識が乏しく、先進国の福祉水準からみると極めて低位にあります。——中略——八郷町の皆様にはまことにご理解あるご協力をいただきまし

て、結成以来七年間になります。が、着実に同志の親睦融和を深め、地域社会発展に残存機能を十分發揮するとともに、自力更生の意欲をもやして社会復帰につとめてきました。

わが会は、同志の団結と組織の強化をし、茨城身障連合会とともに福祉施策の確立に結束し、県はまた日本身障連合会の指揮のもとに福祉の充実のために次の目標を掲げ努力しております。①障害者対策基本法実施 ②雇用法改正 ③乗物割引制度改善 ④自動車諸税減免 ⑤年金内容改善 ⑥法外援護強化などを国会に提出しております。

申し遅れましたが、関野町長さんよりいっそう努力協調せよと会旗を授けられました。旗を授けられたこととて厚くお礼申し上げます。とともに、同志は親睦団結し、ますます身障福祉増進に励みます。また、わが団体の自力更生並びに健康増進のためスポーツを取り入れ、全国団体とともに

に実施いたしております。町からも第一回東京大会に片野の皆川明子さんが出場して銅メダル、第四回九州大会に仏生寺の酒井四郎君が活躍して銅メダルを受賞するなど活躍してききました。本年は、県大会に町から二五名の選手が出場して金メダル七個、銀五個銅七個、計一九個のメダルを獲得しております。また、土浦地方大会（二市二郡）においては、強敵土浦市と同点で決戦の結果準優勝になったので、来年はぜひ優勝を獲得すべく努力するとともに、きたる四十九年の茨城身障スポーツ大会の成功を大目標に、県身障連の結束とともに力強い前進をはかりたいと思います。われわれ同志は、四十六年四月一日現在の調べでは、公認障害者が全国に約一三〇万人、県下に約三万人、町に四一九人おりますが、最近の交通戦争並びに産業災害、成人病、先天的病害などが激増をみております。皆様にもご理解あるご支援をお願い申し上げます。障害者の皆様も進んで入会なされて、同志の施策に協調くだされ、親睦融和に楽しい健全スポーツ大会や研修旅行などにご参加くださるよう重ねてご連絡申し上げ失礼いたします。

全国の死因別死亡数

順位	死 因	死 亡 数	
		4 5 年	4 4 年
	総 数	712,703	693,787
1	脳血管疾患	181,104	177,894
2	悪性新生物	119,881	118,559
3	心 疾 患	89,039	83,357
4	不慮の事故	43,209	43,011
5	老 衰	39,250	37,817
6	肺炎・気管支炎	35,025	32,283
7	高血圧性疾患	18,281	17,374
8	全 結 核	15,873	16,392
9	自 殺	15,665	14,844
10	肝 硬 変	12,863	12,013

人口動態統計から

順位	死 因	死亡数
	総 数	254
1	脳血管疾患	88
2	心 疾 患	44
3	悪性新生物	31
4	肺炎・気管支炎	27
5	老 衰	18
6	消化器疾患	14
7	不慮の事故	14
8	未熟児・育児障害	5
9	肝 硬 変	3
10	高血圧性疾患	2

（が第一位となつています。病死以外の死因が大きい割合を占めることは注目すべきです。また、悪性新生物が幼児、学童期でも第二位となっていることは重視されます。

46年町の死因別死亡数

昭和四十六年度の厚生省発表によりますと、日本における死



因別死亡数は別表のとおりです。この表にはありませんが、年令別死因表によりますと、四〇才以上では脳血管疾患、悪性新生物（ガン）、心疾患の三大成人病が死因の三位までを占めています。乳児（一才未満）の死亡は、先天異常が第一位を占め、満一才から三四才までの広い年齢層では、不慮の事故（交通事故など）が第一位となつています。病死以外の死因が大きい割合を占めることは注目すべきです。また、悪性新生物が幼児、学童期でも第二位となっていることは重視されます。



消防学校の教官の指揮で行なわれた「幹部訓練」

郡内消防団の「幹部訓練」

部長 230 人が参加する

柿中グラウンドに力強い号令

新治郡内の消防団の幹部をあつめ柿岡中学校グラウンドを主会場にして幹部訓練が行なわれました。この幹部訓練には、郡内の各消防団の指導的立場にある部長たち二

三〇名が参加し、八月三十日にけなわれたものです。午前九時に開会、消防協会新治郡支部長倉田辰之助氏のあいさつなどがあり、さっそく訓練に入り午後三時まできびしい訓練が行なわれました。なお、この日は県消防学校長ほか四名の教官が指導にあたりました。

す午前中は部長としての号令、指揮訓練を受けたわけですが、みな防火のベテランぞろいである訓練そのものにも熱が入り号令も力強く校庭にひびきわたりました。また午後からは引きつづき柿岡中学校体育館を利用して、火災戦術や幹部としての心がまえなどを中心に講義を受けさらに消防精神を高めました

盛大に「町民卓球大会」

10 チーム 60 人が参加

体育協会卓球部主催の「町民卓球大会」が九月三日、柿岡中学校体育館で盛大に開かれました。

「町民卓球大会」は毎年三回開かれておりますが、今回はこれまでの競技方法を変え個人戦は行なわず、団体戦がはじめて行なわれました。大会には各職場、団体などから中学生のオープン参加を含め、一〇チーム約六〇名が参加し、合計六コートを使用して終始なごやかな雰囲気の中に競技が行なわれました。

試合方法は、参加一〇チームを二ブロックに分けてリーグ戦を行ない、各ブロックの上位二チームによる決勝トーナメントで勝敗を決めました。大会の結果は次のとおりです



島田さんの功績

たたえ「顕彰の碑」

●優勝 役場 Aチーム 男子 菱沼 岡崎、加藤 女子 久保 田、飯村) ●準優勝 園部青年チーム(男子 成田、堀江(晴)、堀江(重) 女子 飯島、永井) ●三位 小桜チーム(男子 鷹羽、前島、長津 女子 石毛、小原) ●四位 役場Bチーム(男子 鈴木、赤羽根、黒崎、国谷 女子 綿引 小松崎)



野田地区公民館に島田徳寿さんの功績をたたえた「顕彰の碑」がたてられ、その除幕式がさる八月二十二日に行なわれました。

島田さんは、現在大阪の財界で活躍されており、これまでに町の教育界はもちろん、地元の野田部落などにもたくさんのお金を寄付し町発展につくされていきます。顕彰の碑はその功績をたたえ島田さんの意志を永く部落の人にのこしたいと、区長が中心となって事業費二〇万円で公民館すぐわきにたてたものです。なお、この野田地区公民館も島田さんの意志でさる四十三年六月に建てられたものです。除幕式は島田さんはもちろん、町長、桜井県議それ

除幕式で玉くしをささげる町長

に野田地区のみなさん四五名を含め約七〇名が出席して行なわれ、紅白の布でおおわれた顕彰の碑は町長の手によってハサミが入られ除幕されました。幅二メートル、高さ一メートルもある顕彰の碑には島田さんのかずかずの功績が前運輸大臣丹羽喬四郎氏筆で刻まれており、部落のみなさんにはもちろん町民のみなさんにも長くその功績が伝えられることでしょう。

芦穂保育所に

ビニール製プール

芦穂保育所にビニール製プール(六千円相当)がおくられました。

おくり主は、大字吉生の小松本千吉さんで、子どもがたいへんお世話になっているという感謝の意味をこめて、同じ保育所の子どもたちに暑い夏をすごして欲しいのでほしいとおくってくれたものです。この夏は、おくられたプールを利用して思う存分水遊びなどをして楽しみました。



「忘れたところに災害はおこる」ということわざがありますように、水難事故も今ごろからとくに多く発生するものです。春になって暖かくなったりときに火災が多くなったりするのと同様、水難事故も同様です。子どもたちも水になれ、親たちも子どもの遊び

忘れたところに水難事故

公民館長 田上嘉雄

になれ、自然と無関心になったときに事故はおこるものです。

子どもたちも水になれ、

毎日のように川に行き、水に親しむ生活をしているとお互いに子どもたちの遊びに不注意になってきます。どこに子どもたちが遊びに行ったか知らずにいると、いつのまにか川に行き、遊んでいる。川に行くのはよいとしても、川になれてくるとついつい深いところ、危険なところに行くようになってきます。

これは人間の自然ですから、やむをえないと考えられます。物事になれてくると、ついついばうけんをするようになってきます。このときがあぶないのです。

す。

車の運転をしても、免許証をとりたての人は、注意に注意をして運転しますから、事故は少ないそうです。回数を重ねるにしたがって、車になれ運転技術が向上し上座すると、このくらいは大丈夫だろうという安心感が生れ、そこでつい無理をするようになって、とりかえしのつかない重大事故を起こすのだそうです。

子どもたちの水遊びも同様です。そうしたときの注意は、親

の責任です。子どもは、将来どんな立派な人間になるのか想像もできません。そうした宝物をたいせつにしなければなりません。八郷町のためにも、また国家の将来のためにもたいせつにしなければなりません。

幸いに今年は、わが八郷町には一つの水難事故も発生しませんでした。これは、子を持つ両親を初め町民の皆さんがたの注意が行き届いたからです。まことにこのうえもない幸いです。ぜひこうした気持をもちつづけて、最後まで事故皆無に



したいものです。

人間は、いつも緊張してばかりいられません。ちょっとした注意で事故をなくすることができるとは、お互いに気をゆるめず、子どもたちが遊びにでるときは、行く先をたずねてください。そうしてちょっとした注意を与えてください。そうした気のくばりようで、水難事故は防ぐことが可能です。

八郷町の皆様いかがでしょうか。経済的に幸福になるの

もけつこうですが、もっとも子どもたちのことを考えてみてはどうでしょう。

学校にいるうちは先生がたが注意してくれますが、学校をでてからは両親の責任です。学校から帰って遊びにでるとき、注意をして外にだしてくだ

さい。子どもたちの遊びも注意されたことによっておのづと違ってくるでしょう。そうすることによって、水難事故を完全になくしたいのです。

「読書週間」にちなみ

読書感想文を募集

十月二十七日～十一月九日の「読書週間」にあたり、県ではひろく読書感想文を募集しています。ふるってご応募ください。募集する作品は本を読んだの感想または読書の体験、工夫等に関したもので、一人一篇以内。字数は二、〇〇〇字以内です。なお、応募資格は県内居住者にかぎります。

◎応募方法

(一) 応募用紙は四〇〇字詰原稿用紙とする
(二) 作品には末尾に応募者の住所、氏名、年令、性別及職業を明記する

◎提出先

水戸市三の丸一五一五六 茨城県立図書館

◎締切り

昭和47年10月10日 (当日消印有効)

その他、くわしいことは広報課でおたずねください。

第3日曜日は家庭の日 家族みんなで 話し合ひましょう



毎月第三日曜日は「家庭の日」です。

いつになっても忘れない、なつかしい「家庭の味」「心のふるさと」をつくる日、それが「家庭の日」です。

「家庭の日」には、家族の皆さんが楽しみ、話し合う機会を

「たすけあい はげましあお

う」

▽話し合いテーマ

「みんなで交通安全防止」

「たのしいスポーツ」

「進んで自分のできる仕事や奉仕」

「みんなで読書」

もっていた

きたいもの

です。そして

すべての家庭

がこの日をき

かけとして、

毎月「家庭

の日」になる

ようにつとめ

ましょう。

10月

▽生活のねら



10月18日

行政相談所を開設

十月十五日から二十一日までは、行政相談週間です。

道路、公害、交通事故など行政上の問題、あるいは日常生活で困っているかたは気軽に行政相談委員にご相談ください。

町の相談委員は部原の真家耕三さんです。電話は柿岡の六四二五番、有線は瓦会五回線の七番です。真家さんは、行政管理庁長官から行政相談委員の委嘱をうけ、いつでも皆さんからい

ろいろな相談をうけて、助言したり関係機関に連絡したりしてその解決に当たっています。

十月十五日から一週間、行政相談週間と定めて例年どおり各種の行事や広報を行なうことになつています。

行政相談委員の真家さんは、行政相談週間中とくに次の相談所を開設し、皆さんの相談を受けることにしておりますので、気軽にご利用ください。なお、相談内容については秘密が守られ、また費用はいっさいかかりません。

●相談開設日

10月18日(水) 午前九時から午後三時まで 八郷公民館の心配ごと相談室

役場職員採用

試験を11月に

昭和四十七年度の役場職員の採用試験を次の要領で実施することになりました。

受験資格、試験の方法などは次のとおりです。

●受験資格 昭和25年4月2日～昭和30年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません)

- 試験方法 第一次試験(教育試験) 第二次試験(口述試験)
- 第一次試験の合格者のみ
- 試験日及場所 昭和47年11月5日、茨城県自治会館(水戸市三の丸)
- 受付期間 昭和47年9月25日～昭和47年10月21日
- 受験申込先 秘書課まで(申込用紙は用意してあります)

詳細については秘書課にお問い合わせください。

「水と緑のまごころ国体」

写真コンクール

「水と緑のまごころ国体」県民運動を県民総参加によって推進するため写真コンクールが開催されます。ふるって作品をご応募ください。

- 応募資格 県内に居住する者
- テーマ 第二九回国民体育大会全県民運動要綱に定める次の五つの運動項目についての実践活動を撮影したもの及びそれらの活動を推進するのに役立つもの
- (1)美しい環境づくりにつとめよう(2)おたがいに親切にしあ

県政移動相談

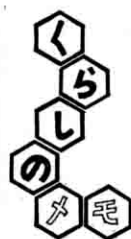
八郷公民館で開きます

みなさんと県を結ぶパイプ役として、生活福祉事務所では「県政移動相談」を行なっています。来る十月二十五日に八郷公民館でこの移動相談が行なわれます。

生活福祉事務所は、みなさんのよき相談相手として、県政と

時間の励行

会議、話し合いは、必ず予定時間内で終了するようにしよう



電気製品は何年もつ?

家庭電気製品は、次々と新製品が発売されるので、最近では故障を修理して使うよりは、使い捨ての傾向が強いです。

電気冷蔵庫の場合、買い替えるのは七、八年目というのがいちばん多いようです。電気製品の中では、電気冷蔵庫の耐用年数がいちばん長いといわれています。長く使うためには、「風通しのよいあまり湿度の高くないところに置き、壁にびったりつけないこと」、「古い型を使っている人は霜とりをきちんとすること」などです。

電気洗たく機の場合は、早い人で四年、いちばん多いのが六、七年とのこと。電気洗たく機をふる場に置く家庭が多いようですが、洗たく機は湿気が大敵です。

テレビは、白黒、カラーとも平均七年で買い替えるのがいちばん多いそうです。長持ちさせる方法としては「キャビネット内部のホコリを年一回くらい掃除する」「長時間連続使用しない」「直射日光をあてない」などです。

9月の納税

国民年金保険料

7・8・9月分

有線放送使用料

7・8・9月分

晩秋蚕繭共済金

みなさんの生活の結びつきを深めることを大きな仕事としています。県の仕事(道路、住宅、開発、公害、交通安全、教育、民生、衛生、商工などに関する仕事)に対する陳情、苦情、意見などを聞き、その解決にあたるわけです。この機会にぜひお気軽にお出かけください。時間は十月二十五日の午前十時から午後二時までです